

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ハートフェルト		
○保護者評価実施期間	令和6年9月1日		令和6年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和6年9月1日		令和6年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年11月9日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用定員や児童の状態等に応じて、職員の配置数を増員しています。	職員の配置数は、通常のスタッフのほか、医療職のスポット勤務を導入するなど可能な限り多めにしており、送迎等で支援の質が下がらないよう心がけています。	常勤スタッフの採用募集をかけており、長く事業所の中心となってくれる人材を募集しております。
2	放課後等デイサービスに加え、保育所等訪問支援も行っているため、利用児童の通学する学校との繋がりが強く情報交換がしやすい環境にあります。	利用児童の通学先の担任だけでなく、必要に応じて管理職とも面談や会議を行い、情報交換を行っています。	利用児童や保護者のお困りごとに寄り添い、放課後等デイサービス、学校、保護者の3者で協力体制を構築していきけるよう努めてまいります。
3	療育システムのHUGやビジネスチャットのChatworkを駆使して、IT化により迅速で正確な連絡体制を整えています。	イベントのお知らせや送迎の変更追加のチャット、デジタルサインの導入等により、保護者との抜け漏れのない情報交換とその迅速化。また、これらによるスタッフの業務効率化を進めています。	IT化のみに頼らず、保護者との対面による面談や保護者会を開催する機会を設けて、心こもった支援につなげてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用児童の下校時刻が学校や学年によって異なるため、低学年の活動時間と高学年の宿題の時間が重なり、宿題に集中できない児童がいます。	入室が遅くなる児童については、学習室で宿題に取り組みせたり、パーティションで活動場所を分けていますが、利用人数が多い日は事業所内が手狭になっています。	天候の良い日は、早く来所した児童を外出活動で分散したり、活動の内容を静粛なものに変更するように心がけております。
2	常勤スタッフとパートスタッフの勤務シフトの違いにより、対面での情報共有の時間が取りにくい状況です。	出勤日数や勤務時間の違いから、同じタイミングでミーティングや振り返りを行うことが難しいです。	当日の振り返りは短時間のプチミーティングを行い、少しでも意見交換の時間を取り、情報共有の不足分は翌勤務日に各自で確認対応できるようChatworkを有効活用したり、サービス提供記録等の再確認を行い、スタッフ間の意思疎通を行ってまいります。
3	どうしても保護者への連絡が行き届かない場合があります。	療育システムHUGの活用により、デジタル化を進めていますが、紙のやり取りを希望されるご家庭の中でお仕事や忙しく電話等の連絡がつきにくい場合もあり、保護者連絡にタイムラグが発生することがあります。	保護者会や対面の面談時に、改めてHUGやChatworkの利用方法のご説明を行う等、デジタル化の推進を促しつつ、対面やお電話等による日頃からの保護者との繋がりを密にするよう努めてまいります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービス ハートフェルト
------	--------------------

公表日 令和6年11月9日

放課後等デイサービス

利用児童数 令和6年9月30日 21名 (19家族)

回収数 17

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	4	1	0	活動状況を見たことがないので分からない。広いスペースだと伸び伸びできると思います。	間仕切り対応や学習室を活用、また、公園や鳴滝グランド等の外出による活動の分散等の工夫をしています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	1	0	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	1	0	2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	3	0	1		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	1	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	0	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	0	0	0		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	0	0	0		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11	2	0	4		
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	2	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	4	0	2		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	16	0	0	1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	2	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	9	4	0	4	夏祭りイベントにお兄ちゃんが安価し、とても楽しかったと話してくれました。	今後も支援の質が高まるよう、計画実施いたします。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	1	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	0	0	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	1	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	1	0	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	0	0	4		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	0	0	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	1	0	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16	1	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	1	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	1	0	0	とても満足しています。いつもありがとうございます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス ハートフェルト				公表日	令和6年11月9日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		場面に応じてパーティションで仕切ったり、スタッフルームを開放して対応しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		サービス提供時間帯に集中して支援ができるよう、スタッフのシフト組みを工夫しており、PTやOT等のスポット勤務実現している。	常勤スタッフの増員が望ましい。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		マットに足を引っ掛けて転んだ事例が発生したため、プレイルームのすべてのカーペットを新しく張り替えました。	施設整備には、常に課題意識を持って対応を検討してまいります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		施設内の湿度が高くなる時季があるため、除湿に留意しています。また、Airdogを常時運転しています。	湿度、環境を整える工夫をしていますが、室内の構造上、湿気が溜まりやすいので、木の棚をステンレス製に変更を検討しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		Chatworkにて必要な情報交換をしています。	当日対面での振り返りの時間が取れず、スタッフの意見や情報が少ないため、積極的な意見発表を求める必要があります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		Chatworkを有効に活用しています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者評価は行っておりません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		無資格採用者には強度行動障害支援者養成研修を受講させています。また、スキルアップのため各種研修の受講を勧めています。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画に基づき、支援時のポイントを職員へ周知しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		5領域を意識して、児童の特性に応じたアセスメントを行っている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		児発管が細かく児童を観察しており、適切な個別支援計画を作成してくれているので、全スタッフが児童の課題を読み取りやすいのではと感じています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		個別支援計画作成のサービス担当会議で保護者の困りごとをスタッフに共有し、活動を立案してもらっている。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		大まかな活動は固定化し、その内容を時機を捉えて変更できるよう工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		曜日固定で利用する児童もいるため、奇数・偶数月で変更していくよう工夫しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		Chatworkを有効に活用しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		退社時間が違う職員にも共有できています。	長い時間のミーティングができないため、短時間のプチミーティングを取り入れていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○			
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○				
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管が参画しており、その内容もスタッフへ都度報告してくれています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校や保護者と連絡調整を密に行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		今年は1件の事例があり、適切に対応させていただきました。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		該当児童なし。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○	長崎市の児童発達支援センターは、まだできたばかりのようで、交流の接点がありません。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		児発管が対応しております。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		管理者及び児発管が出席し、会議内では積極的に建設的な質問を投げかけています。	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		必要に応じてChatworkや電話により行っています。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○				
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		児発管が積極的にを行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		今年は月2回計画しております。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		スタッフ間で情報共有し、どのような対応が望ましいか会議を行っています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		Chatworkの保護者チャットやHUGのシステムから保護者へお知らせしたり、HPでは毎月行事予定を公開しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の保護には十分留意しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			家庭へのマニュアル周知は不十分であると感じており、改善案を考えています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者からのアセスメントにて服薬の状況や持病についてお聞きしております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		おやつ等、アレルギー性分のチェックを行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			理解されていないと思われる点については、保護者会等の機会にご説明します。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○				